



®環境省

# エコアクション21

## 認証・登録証

認証・登録番号	0011285
認証・登録事業者	株式会社藤孝産業 岩手県花巻市実相寺 237 番地 17
事業活動	一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業
対象事業所	本社、作業場
認証・登録日	2016年6月6日
更新・登録日	2018年6月6日
有効期限	2020年6月5日

上記事業者は「エコアクション21ガイドライン2009年版」(環境省)の  
要求事項に適合していることを証します。

一般財団法人 持続性推進機構

理事長

安井 至



平成28年度

# 環境活動レポート



対象期間 : 平成28年7月～平成29年6月

発行年月日 : 平成30年 3月 26日

株式会社 藤孝産業

## 目 次

1 環境方針	1
2 事業概要&認証登録範囲	2
3 実施体制	2
4 環境目標	4
5 環境活動計画	5
6 環境目標の実績	6
7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	7
8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有	8
9 代表者による全体評価と見直し結果	8
10 情報公開事項	9

# 1 環境方針

## 《環境理念》

当社は、一般廃棄物収集運搬業を創業して38年、産業廃棄物収集運搬業を創業して7年、お客様から排出される廃棄物も多様化しており、それに伴い、リユース、リデュース、リサイクル、地球環境の保全に力を入れ、適正に運搬し、お客様に満足・信頼して頂けるようお応えいたします。この地域の美しい自然環境を将来世代に引き継いでいくために、廃棄物の適正処理が地域の環境保全に寄与すると認識しております。このため、収集運搬に係る事業活動に際し、関連法規類の遵守、環境負荷の低減、及び環境保全活動に積極的に取り組んでいくことを誓約します。

## 《環境保全への行動指針》

- 1、収集運搬に使用する車両・重機は排ガス・騒音等環境に配慮した収集運搬を実施します。
- 2、廃棄物の適正分別を、お客様に提案し、お客様の廃棄物のリサイクル率向上をサポートします。自社で運搬できない廃棄物は、適正運搬業者をお客様に紹介し、不法投棄や環境汚染の防止に努めます。
- 3、社内における省エネ、廃棄物削減、節水及びグリーン調達に努めます。
- 4、お客様に役立つ情報を提供できるように、取組や教育を通し社員の資質を高めます。
- 5、事業活動に関連する法規制は、確実に遵守することを誓約いたします。
- 6、地域活動、環境保全活動への参加、環境活動レポートの公表など、地域との環境コミュニケーションに努めます。特に、災害対応に迅速に対応するため重機類の整備・管理を徹底します。

制定日：平成27年5月31日

改訂日：平成 29年 5月 12日 版

**株式会社 藤孝産業**  
代表取締役 伊藤 美知子

## 2 事業概要 & 認証登録範囲

### 1 名称及び代表者名

株式会社 藤孝産業  
代表取締役社長 伊藤 美知子

### 2 所在地

本社事務所 岩手県花巻市実相寺237番地17  
事業所 岩手県花巻市南城20番地

### 3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役 伊藤 美知子 TEL:0198-24-8033  
担当者 代表取締役 伊藤 美知子 FAX:0198-24-8035

### 4 事業活動の内容

一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業

### 5 事業規模

資本金	300	百万円	平成28年度実績(平成28年7月から平成29年6月)	
廃棄物受託量 t	26年度		27年度	28年度
一般廃棄物収集運搬	2,138		2,387	2,290
産業廃棄物収集運搬	139		149	187

(一般・産業廃棄物については行政の届け出の関係で4月から3月とします)

項目	本社事務所	事業所
従業員	3名	7名
敷地面積	321.72㎡	1.047㎡
延べ床面積	39.74㎡	1.047㎡

### 6 認証登録範囲

全サイト・全組織・全活動が認証登録範囲

### 7 営業範囲

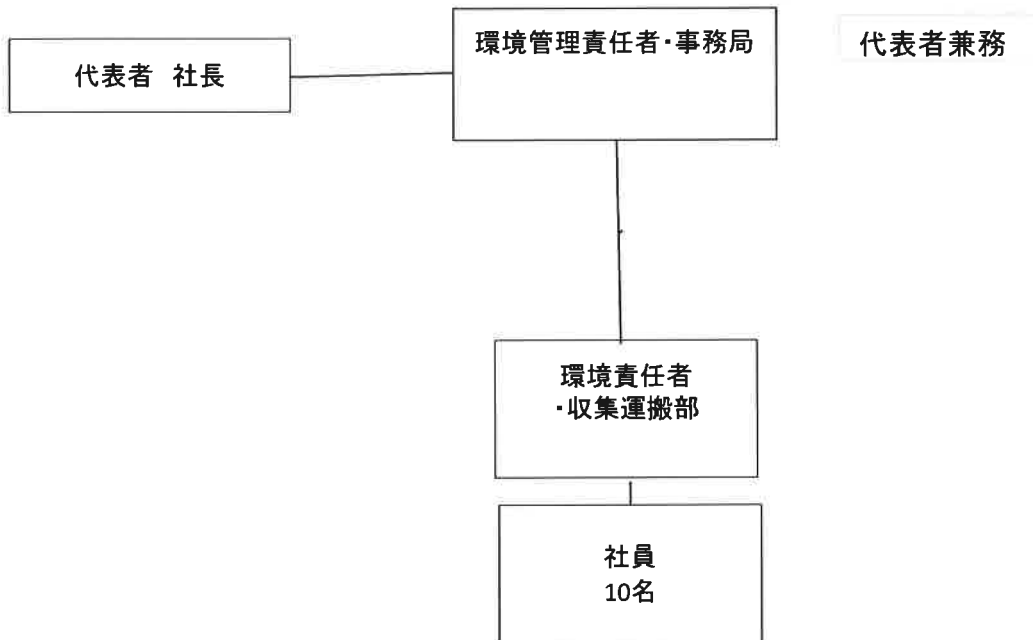
一般廃棄物収集運搬 花巻市全域・奥州市全域・北上市特定家電用機器商品化対象物の荷下限定許可  
産業廃棄物収集運搬 汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類

### 8 社歴

1979年1月岩手県花巻市桜町で藤孝産業を設立。先代社長 伊藤孝造が一人で、2トントラック1台から開業。1979年4月花巻市一般廃棄物収集運搬の許可を頂く。2004年7月有限会社藤孝産業を設立する。2007年6月産業廃棄物収集運搬の許可を頂き、2009年5月事業範囲変更する。(繊維くず・ゴムくず・がれき類・石綿含有産業廃棄物を追加)2015年7月6日株式会社藤孝産業に商号変更した。2016年6月事業範囲変更する。(汚泥・廃酸・廃アルカリを追加)

### 3 実施体制

#### 1 組織



#### 2 役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任。
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。
	・環境方針の策定並びに見直し全従業員への周知
	・環境管理責任者を任命。
	・代表者による全体の評価と見直しを実施。
環境管理責任者 環境事務局	・環境管理システムの構築、実施、管理。
	・環境活動の取組結果を代表者及び環境事務局へ報告。
	・環境管理責任者の補佐。
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
	・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)。
	・取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。
環境責任者	担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。
	・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。
	・従業員に対する教育訓練の実施。
全社員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

## 4 環境目標

### 1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成26年度 (基準年)	平成27年度	平成28年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	107,192	113,008	115,663
購入電力使用量	k w h	4,658	4,916	4,529
ガソリン・軽油使用量	L	39,665	42,506	43,643
灯油使用量	L	822	295	90
L P G使用量	m <sup>3</sup>	15	15	11.8
一般廃棄物排出量	t	—	0.275	0.228
総排水量	m <sup>3</sup>	21	39	41
グリーン購入	種類	3	7	8
地域貢献	回	2	6	6

注1: 排水量の測定はしていないので、水使用量から散水量を削減して求めた。

購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省報道発表(H25/12)の東北電力の実排出係数 0.591kg-CO<sub>2</sub>/kwhを使用。

### 2 環境目標の設定

当社では、平成26年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

項目	基準年度実績値		中期目標(内単年度目標)		
	H26実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
二酸化炭素排出量	増加率	(%)	1	2	3
	107,192	kg-CO <sub>2</sub>	104,487	103,420	102,354
収集運搬 顧客への再資源化等提案・情報提供	-	件	1	1	1
一般廃棄物排出量	廃棄物が少なく、分別を徹底しデータ管理とする。				
総排水量	使用量が少なく、節水を呼びかけデータ管理とする。				
グリーン購入	6	種類	8	10	15
地域貢献	2	回	6	6	6

## 5 環境活動計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取り組んでおります。  
取組の実施状況の評価結果は、表3のとおりです。

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	取組内容	評価	備考	
二酸化炭素排出量の抑制	照明	使用していない場所の、照明消灯を確実に実行する。	○	
		倉庫等、普段使用しない部屋は必要な時以外消灯を徹底する。	○	
		照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適性に管理する。	○	
	冷暖房	冷暖房の温度を冷房28℃・暖房20℃を順守する。	○	
		エアコンのフィルターの清掃を定期的に行う。	○	
		空調を必要な時間帯に限定して使用する。	○	
	節電	昼休みの休憩時、必要のない所は消灯をする。	○	
		残業の時は、必要な箇所のみ点灯し、業務に必要なない箇所は消灯する。	○	
		外出時、退社時などOA機器の待機電源は切る。	○	
	車 輛 其 他	パソコン等のOA機器、照明器具など省エネルギー型に順次切り替える。	○	
		車両のアイドリングストップを実践する。	○	
		急発進、急加速はしない。	○	
空ぶかしはしない。		○		
冷暖房の控えめ使用		○		
タイヤの空気圧は定期的に点検し、適性値を保つよう整備する。		○		
廃棄物の排出抑制	一般 廃棄物	毎日の車両点検を行い、排気ガス、騒音レベルを抑える。	○	
		最大積載量を超えない運搬を行う。	○	
		ハイブリット車や低公害車への切り替えに取り組んでいる。	○	
		書類の内容やレイアウトを見直し、枚数を少なくする。	○	
		会議用資料の簡素化を図る。	○	
		同じ内容の資料や書類の写しは1冊にまとめ、複数人で利用する。	○	
		帳簿見直しによる印刷物の削減	○	
		両面印刷、コピーを徹底する。	○	
		コピーをする前に、コピー機の設定の確認を行いミスコピーを減らす。	○	
		コピーは最小限の枚数を行い、余分なコピーを行わない。	○	
		使用済みコピー用紙の裏面を利用する。	○	
		使用済みの封筒を再利用する。	○	
		個人情報等を含んだ書類はシュレッダー処理を行う前に分別する。	○	
		発生した紙ごみは、個人の手手で分別し、たまったらフロアの分別ボックスに投入する。	○	
	使用済みコピー用紙・雑誌等は所定の場所に保管する。	○		
	分別した紙ごみ・雑誌等は再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。	○		
	電子メール等を利用し、紙を削減する。	○		
パソコン内で社内ネットワークを構築し、文書を共有する。	○			
文書の共有により不要な印刷を削減する。	○			
オフィス用紙・用品等は可能な限り再生商品を購入、使用する。	○			
コピー機のカートリッジの回収、リサイクルする。	○			
古紙リサイクルを徹底する。	○			
産業廃棄物	排出者から排出される産業廃棄物の飛散、漏洩、悪臭ないように運搬する。	○		
	産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正処理を行う。	○		
	産業廃棄物の中間処理場を定期的に伺い、適性処理されているかチェックする。	○		
グリーン購入	事務用品の購入	○		
	消耗品の購入	○		
社員教育	EA21取組み教育	○		
	資質向上教育	○		
	緊急事態教育	○		
地域貢献	ボランティア活動	○		
	地域貢献	○		



## 6 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、平成27年7月から平成28年6月までの実績についての評価結果を報告いたします。(以下、評価結果等について簡潔にコメントする)。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準年	当該年度			環境目標の達成状況
		実績値	削減(増加)	目標値	実績値	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	107,192	1%減	104,487	115,047	未達成
収集運搬 顧客への再資源化等提案・情報提供	件	0	-	1	1	達成
一般廃棄物排出量	廃棄物が少なく、分別を徹底し、データ管理とする。					
総排水量	使用量が少なく、節水を呼びかけデータ管理とする。					
グリーン購入	種類	6	200%増	8	8	達成
地域貢献	回	2	100%	6	6	達成

### 環境活動の状況

毎年9月10日地区の秋祭りで小学生が神輿を担いで商売繁盛、家内安全を祈願しながら町内を回ります。

弊社では、事務所下の車庫を開放して飲み物、お菓子、トイレを提供しております。

お菓子、飲み物を提供したあとのごみは分別してビニール類、ペットボトルをリサイクルしております。

又、老人クラブの方から段ボール・新聞・雑誌・ビン・缶などの資源回収を定期的にご協力しております。



## 7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

### 1. 取組結果の評価

表5 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	実施状況の評価	達成度	次年度の取組内容	
二酸化炭素排出量の抑制	照明	消灯等の取組は普段から定着。	○	継続
	冷暖房	作業場は設置上問題があり、設定温度に出来なかったが、休憩以外は、電源を切っている。エアコンの清掃をした。	△	継続
	節電	昼休みの消灯、パソコンの待機電源を切る。	○	継続
	車両その他	エコドライブの推進。	○	継続
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	今年度は会社の廃棄物を計測できた。	○	継続
	産業廃棄物	今年度は会社の産業廃棄物は無かった。	○	継続
節水・排水	用水・排水	節水表示をした。	○	継続
グリーン購入	事務用品、消耗品の購入をした。	○	エコマーク商品を優先的に購入する。	
社員教育	社員教育はできた。	○	継続	
地域貢献	地域貢献はできた。	○	継続	

○:評価できる、△:まずまず評価できる、×:評価できない

### 2. 次年度以降の重点取組み

- 1 二酸化炭素排出量の削減 節電、エコドライブの推進に努め二酸化炭素排出削減に取り組む
- 2 グリーン購入 グリーン、エコマークの入った環境配慮製品を購入する。

## 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける廃棄物処理法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。また、過去3年間、関係当局からの違反等、住民からの苦情、訴訟等について  
また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題が有りませんでした。

## 9 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
1 環境方針	社内における省エネに努めます。	廃棄物収集、運搬、適正処理を進める。
②環境目標	環境目標については、仕事の依頼が増えて燃料消費が増加した。事務所の灯油使用のエアコンから省エネのエアコンに変えた。	省エネのエアコンを設置して、灯油の使用量減り、使用電力の数値の更なる削減を試みる。数値目標については、従業員に再度説明し、周知徹底を図り、目標達成を進める。
3 環境活動計画及び環境経営システム	環境活動は、各従業員意識しております。エコドライブは推進出来たが、燃料を削減することが出来なかった。	さらなる燃費削減を試みる。
4 その他 ( )		
5 全体評価	ルート改善、節電、車両点検、紙のリサイクルなど、更なる意識をするようになった。以前、仕事の依頼が増加したため、燃料などの削減は出来なかった為、指導の中に燃料の削減では無く、走行距離を測り、燃費の向上に移行するように言われたが、すぐに行動出来なかった為、いまだ、燃料の計算で表示している。来年度は、必ず取り組みたいと思う。	

## 10 組織の概要(情報公開)

事業所名		株式会社 藤孝産業				
代表者名		代表取締役 伊藤 美知子				
所在地		岩手県花巻市実相寺237番地17				
環境管理責任者		伊藤 美知子				
エコアクション21担当者		伊藤 美知子				
連絡先		電話	0198-24-8033	FAX	0198-24-8035	
		E-mail	fujiko_sangyo@iaa.itkeeper.ne.jp			
		UCL				
事業活動の内容		一般廃棄物収集運搬業(積替え保管あり) : 花巻市、北上市、奥州市 産業廃棄物収集運搬業(積替え保管なし) : 岩手県				
事業計画の概要		一般・産業廃棄物収集運搬業を通じて資源循環型社会構築を目的とし、低炭素社会構築に貢献する。				
事業の範囲		営業範囲：岩手県花巻市・北上市と盛岡、紫波地区(特定家庭用機器再商品化対象物の荷下ろしに限る)・奥州市				
事業の規模	事業年度	26年度(26.7~27.6)	27年度(27.7~28.6)	28年度(28.7~29.6)	単位	
	売上高(千円)	76,101	81,777	92,770	千円	
	収集運搬量産廃	139,468	149.48	187.30	t	
	収集運搬量一般	213	2387.36	2,290	t	
	処分量				t	
	従業員(名)	10	10	10	人	
法人設立年月日	平成16年7月1日	資本金	3	百万円	k	
許可の内容	許可名/許可番号	年月日		事業区分、廃棄物の種類		
	花巻市一般廃棄物 第244-5号	許可 有効	平成30年4月1日 平成32年3月31日	一般廃棄物の収集運搬業：事業系・家庭系ごみ・特定家庭用機器再商品化対象物		
	北上市一般廃棄物 第423号	許可 有効	平成29年5月1日 平成31年4月30日	一般廃棄物の収集運搬業：特定家庭用機器再商品化対象物の荷下ろしに限る		
	奥州市一般廃棄物 第807号	許可 有効	平成30年4月1日 平成32年3月31日	一般廃棄物の収集運搬業：事業系・多量排出者ごみ・特定家庭用機器再商品化対象物		
	盛岡・紫波地区一般廃棄物処理業許可証	許可 有効	平成30年4月1日 平成32年3月31日	一般廃棄物の収集運搬業：特定家庭用機器再商品化対象物の荷おろしに限る		
	産業廃棄物収集運搬 00302135760	許可 有効	平成29年6月6日 平成34年6月5日	産業廃棄物収集運搬業：廃油・廃酸・廃アルカリ・汚泥・廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラス・コンクリート・陶磁器くず・がれき類(特別産業廃棄物であるものを除く) 積替え保管なし		
	岩手県産業廃棄物処理業者 岩手県産業廃棄物処理業者育成センター第2015-040号	許可 有効	平成29年6月23日 平成31年6月22日			
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
	一般廃棄物保管施設	102.3m <sup>3</sup>		4tダンプ	3,500kg	1
	一般廃棄物保管場所	206.2m <sup>3</sup>		2t平ボデー	1,450kg	1
	塵芥車	1,950kg	1	2t平ボデー	2,000kg	1
	塵芥車	2,850kg	1	軽トラ平ボデー	350kg	1
	塵芥車	2,050kg	1	社用車		1
	塵芥車	2,050kg	1			
	塵芥車	2,600kg	1			
	塵芥車	2,100kg	1			
	コンテナ車	3,850kg	1			
処理方法・処理工程 業者・処分場に運搬 場に運搬	一般廃棄物収集運搬 業者に収集・回収 → 分別→保管→リサイクル業 産業廃棄物収集運搬 排出事業者へ収集→中間・最終処分					

廃棄物受入基準	収集運搬物・処理物	受入基準
	一般廃棄物収集 可燃物	不燃物の混合がないこと。80×60×60センチ以内とすること。
	一般廃棄物収集 不燃物	可燃物の混合がないこと。
	産業廃棄物収集運搬 廃油	密閉容器に入れ、漏洩のないこと。
	廃プラスチック	混合物、付着物のないこと。
	紙くず	混合物、付着物のないこと。
	木くず	混合物、付着物のないこと。
	繊維くず	混合物、付着物のないこと。
	動植物性残さ	混合物、付着物のないこと。
	ゴムくず	混合物、付着物のないこと。
	金属くず	混合物、付着物のないこと。
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	混合物、付着物のないこと。
	がれき類	混合物、付着物のないこと。
	汚泥	密閉容器に入れ、漏洩のないこと。
	廃酸	密閉容器に入れ、漏洩のないこと。
廃アルカリ	密閉容器に入れ、漏洩のないこと。	
廃棄物の処理料金については弊社電話0198-24-8033にお問い合わせ下さい。		

### 受託した産業廃棄物の処理量

平成28年度

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
産業廃棄物	廃油	/	
	廃プラスチック		47.66
	紙くず		0.02
	木くず		46.11
	繊維くず		1
	動植物性残渣		
	金属くず		31.68
	ガラスコンクリ陶		37.48
	がれき類		23.35
	ゴムくず		
	混合廃棄物		
	収集運搬量合計		
一般廃棄物 積替による 資源化	可燃物	/	1,873
	不燃物		70
	粗大ゴミ		0.92
	缶		63.2
	ビン		35.77
	ペットボトル		7.75
	ダンボール		239.01
	収集運搬量合計		2,290

		単位	26年	27年	28年
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	4,658	4,916	4,529
	化石燃料	MJ	40,497	42,506	43,643
	新エネルギー	MJ			
	その他	MJ			
② 総物質投入量	資源投入量	t			
	循環資源投入量	t			
③ 水資源投入量	上水	m <sup>3</sup>	21	39	41
	工業用水	m <sup>3</sup>			
	地下水	m <sup>3</sup>			
【④ 温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】	Kg-CO <sub>2</sub>	107192	113007.9	115663
		Kg-CO <sub>2</sub>			
		kg-CO <sub>2</sub>			